

氏名	時 岡 孝 光
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2535 号
学位授与の日付	平成 5 年 3 月 28 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	中枢神経障害児の摂食障害と摂食機能訓練に関する研究
論文審査委員	教授 大田原俊輔 教授 清野 佳紀 教授 黒田 重利

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

摂食障害のある中枢神経障害児18例に行った摂食訓練の成績を検討した。訓練例で口唇周囲の過敏性は15例で消失または軽減し、舌の運動は前後が16例、上下が14例、左右が9例で獲得できた。これによって口腔での食物の処理が円滑になった例では嚥下が容易となった。経鼻栄養の10例のうち、7例が経口摂取に変更できた。摂食障害児の多くは口腔期の障害が主であり、訓練効果が期待できるが、咽頭期が強く障害された重症例では、摂食訓練に限界があると思われた。また、中枢神経障害児31例と健常児14例に electrogrottophography (EGG) を行い、重度の摂食障害児では潜時の遅延、持続時間の延長、波形の多層化、嚥下回数の増加が有意に認められ、臨床上の摂食障害を確認できた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は脳障害児における摂食障害における口唇周囲の過敏性に注目し、摂食機能訓練の効果を検討したものである。すなわち摂食障害児の多くは口腔期の障害を主としておりこれらには訓練効果が期待出来ることを明らかにした。これは障害児医学領域では重要な貢献とみなされ、本研究者は学位を得る資格があるものと認める。